

もっと便利で快適な ドライブラيفを 実現する阪神高速を目指して

お客さまのニーズに応じた道路サービスを追求し、
もっと便利で快適な阪神高速道路が身近にある豊かで楽しい生活スタイル
「ドライブライフ」をすべてのお客さまに実現できる阪神高速を目指します。

取り組みを通じて達成に貢献するSDGs



取り組みに関わりがあるステークホルダー



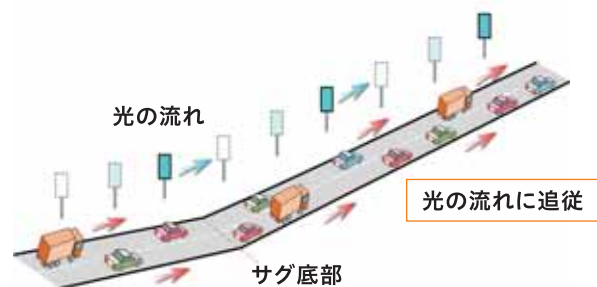
西船場ジャンクション

渋滞対策の推進

ネットワーク整備や工事の集約・短縮などによる対策に加えて、交通運用や情報提供の充実による渋滞対策にも取り組んでいます。

速度回復誘導灯の設置

サグ部（下り坂から上り坂へと変化する場所）では、無意識に速度を低下させてしまうことで、渋滞が発生します。そこで、等間隔に設置した点滅灯を一定速度で流れるように連続的に点灯させて、速度低下の抑制や渋滞中の速度回復を促す「速度回復誘導灯」を設置することにより、渋滞が減少しています。また、路面の上り下りが著しく変化する場合でもサグ部と同様に渋滞が発生している箇所もあり、これらサグ部以外でも渋滞減少効果が期待されます。



速度回復誘導灯の効果（イメージ）



速度回復誘導灯を設置した区間



3号神戸線（東行）深江サグ部付近における速度回復誘導灯の設置



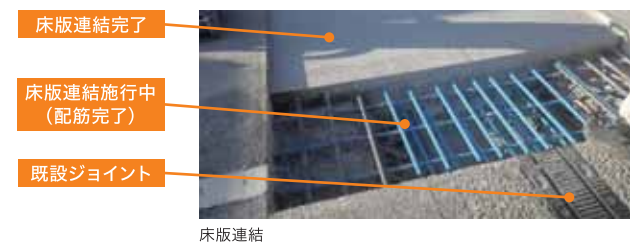
11号池田線（南行）塚本合流付近における速度回復誘導灯の設置

走行快適性の向上

走りやすい路面の確保や情報提供の多様化に取り組んでいます。

道路の平坦性の向上

道路の平坦性は、燃費やタイヤの摩耗状況の改善など、走行コストを低減できるだけでなく、騒音や振動の低減などにもつながり、快適性・安全性に大きな影響を与えます。このため、阪神高速が独自開発した床版連結技術の活用などによる短い区間でのジョイントの解消（ジョイントレス化）や、段差がでにくいジョイント（簡易鋼製ジョイント）を設置するなど、平坦性の向上に取り組んでいます。



床版連結

旧料金圏境の本線料金所の撤去

「距離料金」への移行による旧料金圏の廃止に伴い、安全性の向上と走行性の改善を目的として、不要になった本線料金所の撤去（機能移設）を2016年度より順次進めています。近年では、2020年3月に4号湾岸線（北行）の高石本線料金所の撤去が完了し、2021年3月、その跡地に高石パーキングエリアをオープンしました。引き続き、泉大津、中島の各本線料金所の撤去を行い、新たなパーキングエリアの整備を進めます。



高石本線料金所

ETC2.0を用いた情報提供によるサービスアップ

ETC2.0は、高速道路利用料金の課金機能に加えて、走行中のお客さまに、渋滞回避や安全運転を支援するきめ細かなサービスを提供しています。その特性を十分に生かすべく、お客さまの安全に資する注意喚起情報の充実を図るとともに、道路交通情報の提供頻度の見直しを行い、提供情報の最適化に努めています。今後も引き続き、お客さまにより良い情報を提供できるように改善を図っていきます。



ETC2.0を用いた情報提供によるサービスアップ

「阪神高速はしれGo!」のサービス向上に向けた取り組み

阪神高速道路の最新の交通情報を提供するサービス「阪神高速はしれGo!」では、通常時のご利用はもちろん、災害時や大規模イベント時でも快適にご利用いただけるよう、簡易表示版を別途作成し、アクセス集中時の冗長性確保に努めました。

今後もお客さまにとってより使いやすいサービスとなるように、さらなる機能改善に取り組んでまいります。



PC版阪神高速はしれGo!

料金検索サイトの利便性向上

ホームページの料金検索サイトでは、路線図上で出発地を選択するだけで各出口までの阪神高速道路の通行料金が一目でわかる料金表示サービスを開始しました。

また、検索したルートの出入口などを実際の映像でご覧いただくことができる走行動画もリニューアルし、さらに見やすくなりました。このほか、2020年度においては、スマホ版の快適さを追求し、路線図表示の改善やGPS機能の設定など、機能の充実を図っています。

ほっとできるサービスの提供

お客さまの目線で考え、パーキングエリアや料金所などで質の高いサービスを提供します。

パーキングエリアの改善・充実

すべてのお客さまが気軽に立ち寄り、ほっとしていただける「ほっと処」(「ほっ」とできる空間)を提供するため、トイレの改修をはじめとした施設の充実とスタッフによるおもてなしの質の向上に取り組んでいます。有人パーキングエリアの総合案内役(コンシェルジュ)は、サービス向上のため全員がサービス介助基礎検定を取得しています。

2020年度は、阪神高速道路パーキングエリアでは初となるコンビニが泉大津パーキングエリア(陸側)および中島パーキングエリアに出店しました。取り扱い商品が増えることにより利便性やサービス向上を図りました。また、新たに「高石パーキングエリア」がオープンし、「ほっと処」がさらに増えました。

今後、さらにお客さまのニーズを把握して、施設の改善や接客マナーの向上を図り、魅力あるパーキングエリアを目指します。



高石パーキングエリア



パーキングエリア(PA)設置状況

路外パーキングサービスの提供

お客さまの便利で快適なドライブをサポートするため、地域の企業さまのご協力のもと、ETCを活用して高速道路外の施設を“仮想パーキングエリア”としてご利用いただける「路外パーキングサービス」の社会実験を、5号湾岸線の尼崎テクノランド、11号池田線のロイヤルホームセンター豊中、3号神戸線のamadoの計3箇所で開催しています。2021年4月からご利用可能時間を2時間に拡大し、よりご利用いただきやすくなりました。



尼崎テクノランド(尼崎末広)



ロイヤルホームセンター豊中(豊中南)



amado(尼崎東・神戸方面)

料金所スタッフによるお客さま対応の充実

料金所スタッフは、交通状況や沿線情報などについてお問い合わせを受けることも多く、知識と対応のスキルが必要です。こうしたスキルの一層の向上に加え、外国人旅行者を対象に、各料金所内に備えているタブレット端末や多言語に対応した案内地図などを活用し、国内・国外を問わず、お客さま対応の充実を図っています。



地域活性化×利用促進

沿線地域の活性化と阪神高速道路の利用促進を目的とした、さまざまな施策を実施しています。

GoToトラベル阪神高速周遊パス

新型コロナウイルス感染症拡大により深刻な影響を受けた観光需要を喚起し、関西地域の経済再活性化に貢献するため、国が実施する「GoToトラベル事業」に参画し、事業の対象となる宿泊セット型ETC乗り放題パスである「阪神高速周遊パス」を販売しました。今後もさまざまな施策を通して、関西地域の活性化に取り組んでまいります。



GoToトラベル阪神高速周遊パスのロゴ

阪神高速ドライブチャンネル「どらちゃん」

阪神高速ドライブチャンネル「どらちゃん」は、沿線地域活性化と阪神高速道路の利用促進を目的に開設しました。動画によってお客さまに興味を持っていただき、実際に阪神高速道路を利用して、沿線施設へ足を運んでいただけるようなお出かけ情報に特化したページを月1回の頻度で更新しています。



シリーズ1 SENNAN LONGPARK編

時代のトレンドを意識した斬新で話題性のある企画

2020年度は、大和川線の全線開通(2020年3月29日)をより多くのお客さまに知っていただき、ご利用いただくことで、大和川線の整備効果である、拠点間のアクセスと利便性の向上、渋滞の緩和などを実感していただくため、時代のトレンドを意識した斬新で話題性のある企画を公募した結果、映画『シン・エヴァンゲリオン劇場版』の公開を控えた、世界的な人気アニメ「エヴァンゲリオン」とコラボレーションしました。特設Webサイト、メディアやSNSを活用した広報のほか、拡張現実の技術を活用したARスタンプラリーや、フォトスポットなどを設置したパーキングエリアで、お客さまにドライブライフを楽しんでいただきました。今後もお客さまに豊かで楽しいドライブライフを実現していただけるよう、さまざまな施策に取り組んでまいります。



特設Webサイト ©カラー

メインビジュアル ©カラー



ARスタンプラリー ©カラー

VOICE

動画配信でお出かけ情報をより伝わりやすく



営業部 利用促進課
岩本 望

阪神高速ドライブチャンネル「どらちゃん」は、地域活性化と阪神高速道路の利用促進を目的に配信しているYouTube動画です。ご家族やお友達とのお出かけに役立つ沿線施設情報に加え、阪神高速道路の走行動画で高速道路利用時の注意点やお役立ち情報なども配信することで、普段阪神高速道路のご利用機会が少ない方や女性、高齢者の皆さまにも安心して高速道路をご利用いただけます。ぜひお出かけの参考にさせていただき、チャンネル登録と「いいね」をお願いいたします。